



ゆるくつながり、地域で食もエネルギーもお金もまわす！

2018年1月31日（水） 13:30～16:00

ゲスト：小山 宮佳江（トランジション藤野）

鈴木 嘉彦（山梨大学名誉教授）

■会場：山梨県立図書館 多目的ホール（甲府駅から徒歩1分）

■参加費：無料 どなたでもお気軽にご参加ください

■申込：お電話にてご予約ください（当日申込、部分参加も可能です）

■共催：やまなしエコネットワーク

■主催・お申込・お問合せ：山梨県地球温暖化防止活動推進センター TEL：0551-48-8011

ゆるくつながり、地域で食もエネルギーもお金もまわす！

トランジションタウンは、持続可能で、みんなが笑顔でいられるような社会を創るために身の丈にあった暮らし、つながりの感じられる生き方を実践しながら、食、エネルギー、お金や仕事を地元で循環させて、自給を目指す新しい形の市民運動です。

少ないエネルギーで心豊かに暮らすヒントがそこにはありそうです。

小山さんの話を聞いて、鈴木先生から「エネルギー」「循環型社会」の視点を教わりながら、それぞれの暮らしを豊かにするヒントを探してみませんか？

地球温暖化防止・COOL CHOICE（持続可能な社会にむけた賢い選択）の一步目が、そこにある？！

●プログラム予定

13:00 受付開始

13:30 トランジション藤野の話であれこれ 小山さんと いろいろ おしゃべり

14:30 トランジション藤野を鈴木嘉彦先生の視点で解説

15:00 休憩

15:15 全体ディスカッション ～ 小山さん、鈴木先生と一緒に わいわいトーク

15:45 各種ご案内・アンケート等

16:00 終了予定

●トランジション藤野

2008年6月にパーマカルチャー（※）つながりの友人3名で準備を始め、2009年2月にコアメンバーを募って活動がスタートしました。

当初は映画の上映会、保存食づくりやソーラークッカーづくりなどの単発的なイベントを実施。

2010年からは地域通貨よろづ屋が発足。ネットワークが広がり、現在では約350世帯450名ほどが参加しています。その後、テーマや興味に応じて、森部、藤野電力、お百姓クラブ、健康と医療などのワーキンググループが定着、成長を続けています。

（※）パーマカルチャー：オーストラリア人のビル・モリソンやデビッド・ホルムグレンらが提唱した農的暮らしのデザイン手法。トランジション・タウンの考え方は、これをまちづくりに応用したものと言える。

ホームページ：<http://ttfujino.net/#about>

●鈴木嘉彦 プロフィール

山梨大学名誉教授。地球環境問題の解決をめざして研究教育ならびに普及啓発活動を行っている。循環システム工学科の学科長等も務めた。自転車や公共輸送機関を利用し、自宅でも太陽光発電を行うなど環境に負荷を与えない生活スタイルを日々実践中。持続可能な社会を地球のミニモデルといえる山梨県で世界最初に実現すべく種々の活動を行っている。

著書：「持続可能社会のつくり方」日科技連出版 共著「循環型社会入門」オーム社、「人間と情報」

山梨日日新聞社、「地域と情報」山梨日日新聞社等

やまなしエコネットワーク代表、公益財団法人「山梨総合研究所」理事、山梨県小水力利用推進協議会会長、

NPO 法人「やまなし県民政策ネットワーク」理事長などを務めている。



山梨県地球温暖化防止活動推進センター（公益財団法人キープ協会）

〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL：0551-48-3011 メール：eco@keep.or.jp

URL：<http://www.Keep.or.jp/yccca/>